

「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト2024」の受賞作品等について

1 要旨・目的

性別による固定観念の解消に向けた気運を高めるため実施している「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト2024」について、最優秀賞などの各賞が決定したため報告する。

2 現状・背景

今年度は、コンテストの趣旨に賛同いただいた県内企業各社からの協賛・協力を得て、昨年度の2倍を超える3,747句の応募があった。

その中から、審査員の厳正なる審査による最優秀賞ほか3賞、特別協賛企業の各社審査による企業賞、県民一般投票による県民共感No.1賞を決定した。

3 概要

(1) 実施主体

広島県

(2) 実施期間

令和6年9月10日（火）川柳募集開始

～ 令和6年12月3日（火）授賞式（エソール広島）

(3) 審査方法

一次審査を経て入賞30作品を決定後、優秀作品を決める二次審査、特別協賛企業による企業賞審査、共感作品を決める一般投票をそれぞれ実施



(4) 受賞作品

作品	年代	性別	作者の思い
【最優秀賞】 大丈夫？ 男性ばかりの その会議	40代	女性	どのような分野でもジェンダーバランスの考え方が広まってほしいと願った一句。
【優秀賞】・【県民共感度No.1賞】ダブル受賞 ランドセル ぼくもカープの 色がいい	30代	女性	赤は女の子というイメージが根強く、男の子が赤いランドセルを使うハードルが高いことを残念に思った一句。
【優秀賞】 風呂よりも 半身浴の 皿洗え	60代	女性	配偶者がやると言いながらいつまでも片付けない皿を見て、嘆いた一句。
【審査員賞】 育児支援 ママ、ママ、ママ、ママ パパはどこ？	30代	男性	育休中、男親1人でのイベント参加や支援を受けにくかった体験を詠んだ一句。
【ひろぎんHD「未来を、ひろげる。」賞】 だが君は 子育てあるから 無理だよね？	50代	答えたくない	何故母親が子育てすると決められているのだろう？とモヤモヤを表現した一句。
【広島電鉄「広島のワクワク」賞】 レディースよ？ だから何？と 我が息子	40代	女性	息子の「気にしない事が普通」という感覚を素敵だと思ったことを詠んだ一句。
【フジ「お客さまとのつながり」賞】 恥なのか？ ナプキン抱える 黒袋	20代	女性	生理の話題をオープンにすることで、偏見や悩みが解消されることを願った一句。

(5) **メディア掲載**

実施期間中、県内の新聞・テレビなどの報道で延べ15回掲載された。

また、受賞作品と授賞式の様子は、県内だけでなく、全国ニュースでも取り上げられるなど、大きな反響を得た。

(6) **今後の取組**

川柳に込められた「もやもや」を幅広く県民に届け、気づきや共感につなげるため、優秀作品等を活用した広報を、協賛企業の協力を得ながら実施する。

4 **その他**

「ちいと もやもや ジェンダー川柳コンテスト」専用サイト
<http://www.gendersenryu.jp/>

